

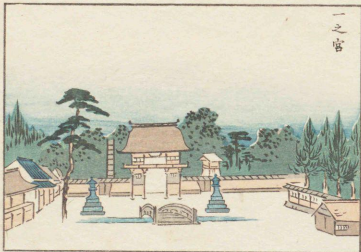


題名區小景之圖

尾張也副畢星明六十餘州
第一名地彌乾坤吞碧海天
懸日月照金城

尾張と海畢ともかく本之志名の
久字をこうしつゝ國とて

一之宮



純原尾坐禪石

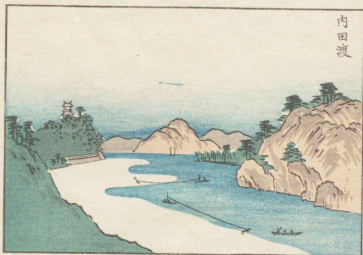


A294



百ノ一

内田渡



船津明神山



名區小景初編卷之下

一之宮

ふ代の経よりきればあつてついでにわたりて
たのびん神のゆゑにたすむるやうにわたりて
名よかふへらのまゝの街は六甲まきの人のたゆまじき
他ふかふかこの浅かけ流てす八段うま秋の花月
継鹿尾座禪石

月上雲端夜報晴山光水色望分明岨川舟楫半痕

影一曲灘頭碎有聲

石林依絶壁苔古尚無埃不見僧趺坐溪雲自去来

正次

國綱

芳雄

甫岳

画屏

坦道

つうのどにまうてよハ法の所れききせしむる石のつらむ
 内田渡

新漲溪山緑春風柳拂航殷勤莫回棹晴色故斜陽
 け川のゆりてんても大なるやとまとい山といひやうら

万葉と一盡島よりしりり

船津明神山

さくをりみつきにねむるよーねはの舟れをねむるもハ

濱島居

日昇華表柱高映白砂紅七里航灘客先知近大宮
 舟あつしまゆやとこしし葉ふよりわつこまてりつと旅人

夕市の人れはるふまの海そこの狭むと籍の度もの

文貞

牧山

陸子

月涛

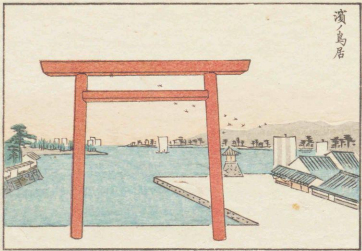
義稻

白鷗

茂岳

吉三彦

濱島居



鹿栗河



半田



甚目寺



半ノ田

涼風のつちんでふき枕飾り部
重月やを病乃月ノ川溪の先
鹿乗ヲ湊

共雄
月涛

半田里

入庭より野きのがし山は松を鹿乗ら濁るえふよりりや

道直

け里はちくこのよつと来ても見よ衣の浦とくハリありあり
東路のつちねと山と主物くらわもう浦にえゆ富士の根
おひあへの煙くらふ門橋初せをもむ田の里を旅りよ
と門まや路のありのち光る

豊水
智建
殿久
快堂

甚目寺

尾陽佛閣古城邊膠地伽藍篆香烟薩埵降臨幾千

甫岳

載木魚聲響動群賢

いひのりつゝぬ雲はうれもうらやまの雲さうりなり
いよへのひらきけふはなごころの竹の文とむまの山さ

冬の日にれ様こゝろはなり 仁王門

危松くも吹とふてちふの衆くふ

賢明

敬一

黄山

野堂

犬山城

白帝城頭朝霧披水光山色似争奇此中三峽看相
得徒憶詩論幾促詩

突兀孤城秀女墻明平空仰看英雄地千古有雄風

かゝてかゝて犬山の名もきこももほりなり

岩角よあつてふやちのほそき

圓竹

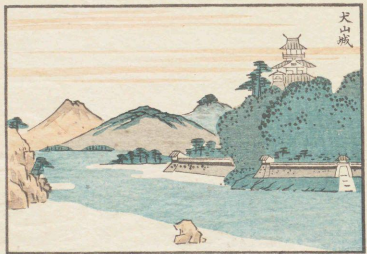
九泉

茂岳

芝岳

石

犬山城



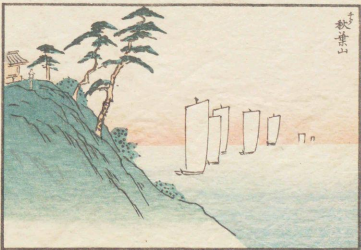
富士百景



万場渡



秋景



下六

富士見原

望嶽原頭望渺然花舍霞色柳舍烟逼看一片芙蓉
雪映帶斜陽遠聳天
渺々茫茫常見難富峯遠在彩雲端今朝忽地逢神
女喜是年頭第一觀

雪映帶斜陽遠聳天

天の赤うすの雪はまはかして霞をよけし風のまゆ

十月やよひの光をよけし風のまゆ

踏まけてまゝ人の中へ雪の石二

万場渡

こゝろをよけし光をよけし風のまゆ

東密

宗哲

千疇

長彦

列根

杜榮

義福

川く万仞集の人をけりしききせふくおれし川河く
 其跡々 何系おれやかあり 月 其雄
 鴨 二ワ繁とやしくおれりりり 馬眺

秋葉山

穿霧排雲上石榜巽然純頂望將迷東南萬里琉璃 精一
 水々最高邊天却低

村系山星ハ納りの新あくくすけれ里ハ附而てとり 徳瑞

葛籠岩

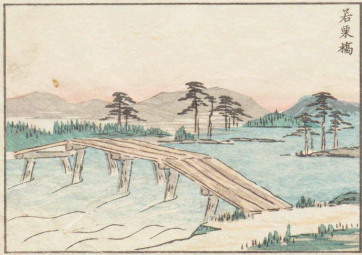
屹立勢巖々人呼為九折取形將取皺吾未得其說 梅軒

若栗橋

今も引ふきくわらりの里れ名ハおもこちれてわくねく 重伴



白旗山
葛籠岩

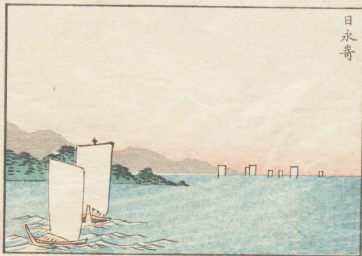


若栗橋

立田



日永哥



ナハ

立田蓮沼

おろろいさき小川の橋をくわへてくらせぬるとし

忠近

溝脛剣鏝正於棋中有芙蓉數十池不啻愛花君子

伯淹

也根供野蕨味尤奇

此多のそこれかこりさひまよもそらけ不吸さくはあつりり

千野

くられきさのりり田はかこうけの濁りまよぬきまのち

赤御膳

日永崎

あまのからんやもむわさうらりすむ日昔の傍れ喜の夕あき

正枝

そぬあふるをれさうけりあぬ日永の昔の名いそとさりれ

鈍阿

夕あきに漕舟あはかすみつ昔の日をれ砂うくと有け

嘉寛

まゆりさうり吹て昔冢や吹つ

梅裡

大井湊

日もふくくかり八月のかげり

光玉

玉野川橋ノ瀨

両州山嶺廢水路豁然開此地尤饒富舟船輻湊

吉田正徳

寺曾觀此地為勝概中兄乱石砦如慶似從橋上行

野村梅軒

踏んでてはつかつひさきさき橋をせつたつ水のふら

正徳

わたりぬぐもきまといろけうせともあけをらむ

啓

秋深しなればりむ山乃新

一清

國府宮

遺廟依松柏居然太古風蒸民仍粒食誰道非神功

伯孝

深々靈社殘花紅灯並散花大國宮誰侍東風春日

甫岳



大井湊



玉野川橋ノ瀨



客黄金為字岳神通

尾張のや丈か靈のまゝをひて必さうえんを民ハ業ゆ

茂岳

月見坂

晚村烟露暗生愁劇草婦来野水頭誰上古城弄明

紫陽

月一聲横玉訴清秋

まゝの初ふ里のか乃月又坂夕へくハけ小く小あそ

政資

三日月やきぬこの坂てれき小萩

其雄

首月やえを握りくりの門配き

旭暉

月おきえんてまききねもあり

馬暁

日間賀島三本松

三株皆偃蓋吹老海門風島嶼秋縹渺布帆如浮空

恬菴

龍洞

五月廿八日石堂代吉りよに

甫岳

深淵望嶽然龍去未多年想像先天德青春水若烟

関尾

峇尼頭備題龍洞巖上詩

龍徳不測與世推遷昔頭騰空今潛護洞

全

いづちてあふはららんびりう洞今い水の音をみまうらね

和雄

子世経も朽ぬその名れりり洞いそわふのそ

道直

かろうひてふそをを経てふ鱗の竜もあれり洞也洞

芳雄

星寄

滝の坂落以くつるをもえいりや一滝のあ戸の衣を

義教

ちかつちのそ経れとら経て商人もりきりそねそ経の溪

壽平



日間賀三木松



竜洞

星崎沙渚



官田二水



ノ士

かゝくともたふをかりのそを捨てあふすゆくわいひの浦

正枝

むしねハサ〜〜海や峰 千雀

而后

そ門 林や夕えて 庭は海人々母

野堂

宮田秋

まふあま〜〜ぬん〜〜をみや〜〜け水のまは〜〜あひく民衆

嘉武

民衆のたのむま田のニッハひ〜〜あ〜〜ぬん〜〜をみや

正明

せき〜〜本々の川〜〜の月 史てま田の里小水踏峰

芳雄

豊への君〜〜民とのニッハ氷のま田の苗代の方

赤の御膳

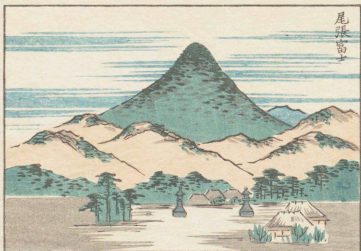
〜〜里の民の乳房〜〜や〜〜ぬん〜〜の杖をまはひて

京井軒

水き 月や 乳房とあ〜〜ん〜〜う〜〜月林

栗壻

尾張富士



尾張富士



加家観音

名くちりまのふ女ふあふまふのふくわひのけん
 こやもつりのミヤふちりひらのほりてあけふの文山
 山冬の屋住の石二ハその海月のひミヤうつーこらん
 毛袴の冬をそのまゆ屋住のふを祓ふふにづく麻ありり

加家観音山

此地登臨客應知勝因深崖風千帆上吹送海潮音
 きもきさもあふむをつまけのミヤのふきひうり
 峯はくてもむむりにちこのはれはきさきこのふもまふ

屏風ヶ滝

飛瀑と松韻幽襟被籠涼醉眠岸頭石夢入白雲郷

河原の雪吹とる尾とくね

輝如

雪直

赤の御膳

竜屋

蘭泉

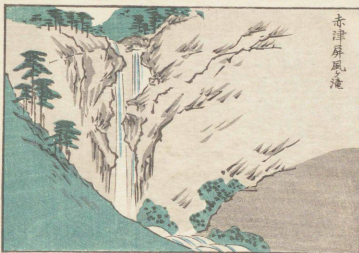
重伴

徳隆

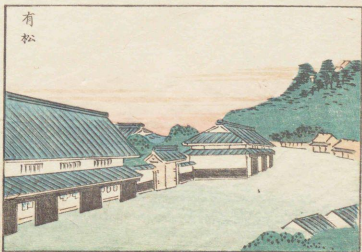
其雄

関尾

赤津屏風滝



有松



有松里

曝來自於雪皴布何爭列少女慣入功十三能絞纈
ひまけそよみの名もみは有松の里乃小布とくり係して
名物といふはあそみのおゆりほくろくせん千あまていふつあこ
たけはちろくくぬさこの之はとと雪やもふささふ紋てありあり

鳳文
清貞
小馬
七五三彦

岩崙觀音山

閣掛石崖出世塵望前澄景自留人岩如虎豹張形
榮松學竟蛇為扇伸詩料携來明月夕行厨捲到百
花辰閑雲幽鳥風烟趣何去興情鮮此身

惟孝

阿波手森

いづれのちりてくつみくそさくつみ

鶯室



岩崎観音

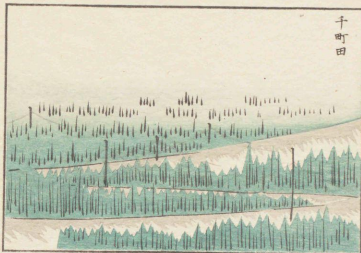


阿波手森

千町田

くさくさをさりぬきしきよの舟小あての長はわかれぬ
 ちかまふあての長はしきよもさきよりとれとわかれぬ
 いしりの人のまけまじりぬのりまの長は名にしめて
 ちかやあてくふひうめ 松乃 文
 蘭田と出てきくかれしきよ水鏡りぬ
 月むうーあてくとゆりのり
 千町田
 ちかやあてぬきしきよの舟のふりてとて
 千町田のいしりぬ松は松しきよとてくさくさふきぬ
 申くわぬまの長はまじりぬちかやあてぬ
 ちかやあてぬきしきよの舟のふりてとて

政茂
 貞足
 敬一
 梅間
 馬眺
 甫岳
 高茂
 永頼
 徳隆
 徳瑞



常滑神明

舟の如くを扱ひてこころ思ふも動ともし陸の如

風もあき 舟の如きやまき田の如

ひと田つ 世界の遠くかよりくる

大粒の雨に花つく陸の如

まふく思甘ふハふれけり

常滑神明山

幸くまかきさくて玉瓶や里とまりの舟の如

二村山

さしてり二村山の如くして一切まよりあひく

あやみくも芳らちちてこれより二村山ハおきて

舟もや舟の如く舟の如く二村山ハおきて

帆九亭

月底

芝石

馬曉

厭離

知義

相嘉

元久

徳瑞



二村山



海摺神社

海摺神社

鳴海

くさやの二村山の夕照あすく故人おぬとく誠中ん
 うまくくわたりまけてもかきとやさしふまておんらん
 吹ふふすのふくひりーれこむ
 細うりやとくうくかけうりり

久寧
 宗利
 其雄
 有来
 光澄

まみ風ももせぬ代へくみほみらけはもゆふをそ
 さよふちあらしりぬ一吹かこほ夜屋とてまこくしん
 又くわてくくあみのもくくしあふんゆ夕あさのを
 心やへの時も田圃まあさくこ移はふのはとすりく新風

智建
 政徳
 知紀
 義教

鳴海



内海



下六

このちかは風きむくふきくおのちりくもるはり
 一ひいとわとくふうとくくはしつきのあまわうら
 友千ちまのまらうくちくしつとらくししつきの侯

貞足
 國綱
 基精

内海

一望張南海風帆何處舟凌波如白鷺飛入志摩州

徳瑞

あはのうつゝひり細の縄うきききききききききき

全

むりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり

中人

さきさきさきさきさきさきさきさきさきさきさきさき

全

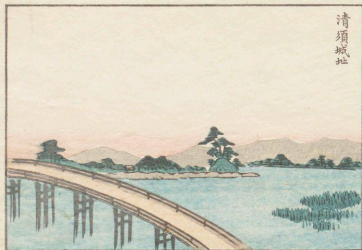
くわくわくわくわくわくわくわくわくわくわくわくわく

季林

うめいれいれいれいれいれいれいれいれいれいれいれいれ

内海里入

須領城址



清須城址



瀬戸

昔日曾將麾下兵研呑海内擅英名一朝霸業空蕭
 索只有松穀葵玉筮

弘道

あつりりぞうつりてもつちのふしんのもろとくにばんせの
 大塚のあつりりんものあつりりんものあつりりんものあつりりんもの
 代いと狩てとさふなきてふさうなり大塚の沼のわのひま
 いにのの大城のわととひこれ小田のむのまのまのま
 まつりひとまつりまのまつりまのまつりまのまつりまのまつり

瀬戸

文貞

地無商賈無田圃不似城中不似村戸々家々都範

精一

玉密烟標斷一乾坤

万代のまのまつりまのまつりまのまつりまのまつりまのまつり

道直

小根
神明ノ森



入原池



リカ

西ノ入船つとせんともくふ人のあまの瀬戸の寛元

哭馬

やきりのけりわりとくまはまきう郡

英雀

小根ノ森

ふれつとわこくきれとくわあふつとく小根の森の浦

守胤

入鹿池

池若玉盆山若屏望前十里自青々横塘各牖三千

惟孝

大水灌舜田開國寧

あふねふふのたの月くみのあまの浦

南景

管門の屋とく床の代ふいくく山のあまの浦

常慶

たい内とせしてふりや代の略

菱湖

名區小景初篇卷之下終

弘化四年夏五月發兌

畫圖

春江小田切忠近



淨書

上卷

瑞齋梶原昭豐



全

下卷

蘭皋杉本良承



尾張

千歲園藏板



下

卷中人名錄

張公畫齋巧拙合流箋

通成	才多 ^ト 可 ^ク	林	又 ^マ 方 ^ハ ノ	仲敏	三ノ九	上田平刀
重好	力字 ^リ 丁 ^{テイ}	石永	又 ^マ 吉 ^キ 市	昭豊	五ノヤ	梶原浩長
學山	イセ可 ^ケ	神中	長三 ^{チヤウ} 市	惟孝	名多 ^ナ 年 ^{ネン} 小牧	又
和雄	杉ノ丁	市長	長茂	啓	上留	岡田六右衛門
且齋	アツタ	且高	藝夫	守胤	アイチ 丹毛茂中	青山茂徳
道直	向ヤ町	神口	市吉備	宗利	アイチ ノナミ	小坂若吉
梅居	トビシヤ	井杉	屋傳吉	德瑞	トキ アソシ	宝樹院現任
草屋	トビシヤ	久曾	三右 ^{ミサユ} 四右 ^{ヨシユ}	盛久	トキ 大足	小出傳前
一虎	在江ノ	牟根	左吉備	古道	セチヤ 可	永田六右夫
嘉寛	才木 ^{イノ} 中 ^{ナカ} 吉	万徳	右現任	鳳文	セチヤ 可	奥田文次市
関尾	才木 ^{イノ} 中 ^{ナカ} 吉					

忠重	ブイ丁	村上九郎	意然	アキナ井	西来三茶伝
信子	ブイ丁	了瑞多茶助傳	必有	ナリ浦	山岩多仲
鵬居	南天の町	吾承六右三	眉山	サマノ丁	辰田良茂
琵琶若	山三前	井谷利吉	黄山	南天の町	吾承美山
鶯室	カタナ子	成術一市	月窓	小橋中島	吾田世良
牧山	大赤見	振ア子森左の	春密	狸堂スナ	築山老雲三
隆山	ビハヤ	西派子泥伝	清行	アサノ中	祖父泥伝
保住	江別 南村出町	停振勘右の	長彦	ニハ 大山	大沙隆景
芸里	上宿	飯之若夫傳	廣信	ナリ 大足	小出礼助
免農	オホナ子	大熊忠吉	楚山	ナリ 久村	内後傳志清
伯淹	代丁	児玉重一市	雀史	ナリ 可	梧史夙史

忠克	ハナ子	沼井若一進	千時	ヒシノ子	山田敬右の
敬一	オノバ	小出定吉	正部	セシノ町	浜田清景
九草	オホナ子	沙井俊一市	寅亮	代丁	田中虎三市
正次	オホナ子 キラス	林 兼冬門	智山	ナリ 山田	田中若年
圓什	分 河田	赤徑子泥伝	三輪堂	ミヤダ	三輪貞二
紫山	オホナ子	浅井董吉市	七曲翁	南天の町	沙中孝徳伝
白鷗	アウタ	鏡味中要	直政	砂子	栗田筑後
伯孝	七曲ノ	阿部三市	正枝	ヒロコウ子	蒲井真吉
宣子	デキ町	八坂市左の女	忠陳	ガリウ	細中為茂
義輪	スア小林	中尾八右左の	重躬	手代町	鈴木志七
芳雄	オホナ子 中島平	依後吉左傳	應知	登移丁	奥信若二市

馬曉	志水	河口家三郎	快遊	野立	小坂榮治
雜賢	中平時茂	柳沢六一	長翁	イセ町	氷室長翁
嘉武	在京	岩田勉次舟	幸園	ゴウジ	伊藤丈助
錦縁	中七	依才子沈次	淵源	上ツエ	光吉寺沈次
直道	中七	小塚茂助	直持	中七	小塚理忠
貞足	中七	山内茂之舟	國綱	中七	後色茂之舟
暉朗	中七	雜谷下平	米枝	下ツエ	後色折助
厭離	中七	右田甚力舟	好之	官町	帆丸澄儀舟
茶朗	中七	右田甚二	帆丸寺	イセ町	折井順茂
春蔭	中七	浪本多の浪	士三彦	四々	坂浦勘舟
甫岳	中七	清原源舟	東廩	ヨミタラ	堀田小舟舟

下六三

元久	中七	外山源次舟	丈之	中七	山村茂舟
守公	在江ノ	寺山仲	三丘	長栄上舟	榎地勢内
義教	中七	石津玄助	守信	下イ丁	馬場多舟舟
相房	中ノ丁	西村源之舟	文訓	中七	前田立碩
月底	ゴク丁	茶光舟	精一	中七	條田精一
我竟	上浦	寺島甚舟	月涛	中七	條島安七
有秀	中七	岩島甚舟	寛齋	中七	岩田甚舟
浪丸	大足	間瀬文伸	其奉	大足	浪田三舟
正明	中七	林甚舟	画屏	中七	福巖寺沈次
坦道	中七	东光寺沈次	文貞	中七	怡川文貞
陸子	杉ノ丁	市岡茂舟	茂岳	中七	桂村茂舟

其雄	志水	江口庄	豊水	半田	小栗庄
智建	半田	中津庄	快堂	志水	存古
賢明	中栗田	若原庄	野堂	カネノス	武田清三郎
芝石	七ノ町	千里亭	宗哲	五ノ丁	楊井庄
列根	オノ田	小沢路	杜榮	小信中	若田二
梅軒	フエノ丁	中山庄	重伴	カスチ	宮崎庄
赤柳勝	白土丁	千村庄	鈍阿	下ノ町	平子庄
梅裡	ムルヤ丁	明梨庄	光玉	アノノ	井田八
正徳	フエノ丁	若田庄	正徳	日蓮寺	若田八十郎
一清	ムルヤ丁	沙屋庄	紫陽	ヨシノ	若田春造
政實	三ノ丸	若田徳次	旭嶂	小舟丁	若田氏

下田

臨菴	赤野丁	天中久	寿年	アノノ	合系大庄
而后	ムルヤ丁	銭屋庄	赤井軒	カネノ	京口庄
栗崎	曾田	栗本庄	暉如	三ノ丁	西谷庄
雲直	三ノ丸	上中久	竜屋	兼名町	若田庄
蘭泉	ヤギ町	枝本庄	徳隆	カネノ	若田庄
清貞	オノ田	若田庄	小馬	オノ丁	若田庄
政茂	ヨシノ	杉山庄	梅間	カネノ	若田庄
高茂	赤野	山名庄	永頼	三ノ丸	若田庄
知義	北条	関越庄	相嘉	西ノ丁	若田庄
久寧	フエノ丁	中沢庄	有米	カネノ	若田庄
光澄	タカ	井上庄	政徳	三ノ丸	若田庄

知紀	中ノ丁	吾田卷之巻	碓氷	碓氷宗二
中人	馬場	碓氷寺ノ師	季林	市川甚之助
内海屋	ウヱ	何某	弘道	奥伝次
仲弘	赤川東車	小林八景門	咲馬	花山
英雀	平田丁	三浦玄光門	南景	称春子祝儀
常慶	アサト	令剛院之	菱湖	菱屋貞花
南陵	代まつ	富永南陔	忠近	小田切清之助

下

尾張名所圖會

前編七巻既刻
後編六巻近刻

大園 梅屋両大人
春江 諸名家

同撰
圖畵

名匠小景二編

全二巻近刻

春江

圖畵

御湯ふりんと勝景と持以て例の八十園とありては諸人の情分甚だ
之こそ及りしやうか程かましくて之れをいふ

善光寺道名所圖會

全五巻
近刻

庸園大人編進并圖畵
春江 補畵

大日本國魏輯話

全三巻
近刻

春江撰進并
華溪大人

圖畵
補畵

此書ハ魏野とリキと以て大ハ高文修 枝本若子云ふのこゝを自伝
の稿とて一冊七道中十餘名あり隠跡と詳小亦一冊とて
ハ一冊一冊と加へて此巻のもて之を以て之れを以て之れを以て
之れを以て之れを以て之れを以て之れを以て之れを以て之れを以て

右の書はもとよりねえは其の如くもて之れを以て之れを以て之れを以て
之れを以て之れを以て之れを以て之れを以て之れを以て之れを以て

春江九辨

